

小野市議会だより

2020.5

No.191

56年の歴史を築いた議場に感謝

おの市議会だより

議会報発刊に際して

市民参加の具現化をめざして

市長 井上 地吉

議員 河島 二郎



おの市議会だより

六月定期例会

一般会計補正予算など



おの市議会だより

小野市民会館大ホール設備
改善工事請負契約を採択



おの市議会だより

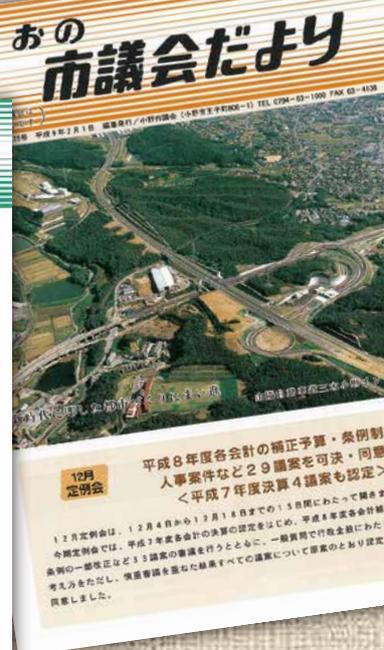
平成12年度予算・条例制定など
54議案可決



おの市議会だより

平成12年度予算・条例制定など
54議案可決

「21世紀のエクセレントシティ」を
めざしまちづくりに
総額382億6,800万円



おの市議会だより

2001
No.111

18年度予算・条例制定・人事案件など
38議案を可決、同意する



おの市議会だより

21世紀は私たちの手で
子どもも議会開会

一般会計補正予算・条例制定・意見書案・
人事案件など21議案を可決、同意
決算特別委員会を設置、4議案付託



おの市議会だより

平成12年度予算・条例制定など
54議案可決

「21世紀のエクセレントシティ」を
めざしまちづくりに
総額382億6,800万円



おの市議会だより

2005
February
No.115

川線電化
番電車走る

決算認定・補正予算・条例改正など17
議案を可決、認定する



おの市議会だより

2006/7

託児は、おまかせ

ゆっくり議会を傍聴しよう



おの市議会だより

Ono city assembly

「団体役員・選手のおもてなしは、まかせといて！」
「民泊推進大会」アルゴに集う、大勢の民泊協力のみなさま

2006年のじき月間
小野市議会

カウント
ダウン
60



おの市議会だより

2020
No.191

なるほど
小野市議会



小野市の歴史を築いた議場に感謝して



56年間使用した出退盤



改装前の議場



ひまわりの塔

第35回定例会



最後の議場

昭和39年10月、王子町に市役所庁舎が完成してから56年。議場では様々な施策が決定されてきました。小野市制誕生以来、令和2年3月議会まで420回を数え、北播磨総合医療センター開院、高校生までの医療費無料化、いじめ等防止条例、福祉給付制度適正化条例、空家等適正化条例の制定、新庁舎移転など、全てこの議場で決定されてきました。

今日の小野市があるのは議場があってこそだと感じています。5月からは新庁舎での議場で、市の施策が決定されます。

我々、市議会はこの議場に感謝し、王子町の庁舎最後の市議会(第420回定例会)に多くの方々の傍聴を求め、皆さま方と共に閉会を迎えたかったのですが、社会状況を考慮し、傍聴中止を決断しました。そして、この議会だよりをもって議場の歩み(歴史)を披露し、議場への感謝といたします。

次回本会議からは、新庁舎での議決となります。未来の小野市を皆さま方と共に築くため、新しい議場に、ぜひとも足を運んでいただきますようお願い申し上げます。

当初予算を小野市議会がチェック!!

国際交流事業の内容は

- Q** 国際交流事業の内容と対象の外国人は。
- A** ベトナム人が増加しており、国際交流協会が実施している日本語教室を充実してもらう。一方で、外国人を雇用する企業が必要な対策を講じるべきだという考えもあり、全て行政が対応するか再考する必要がある。



小野まつりの会場は

- Q** 会場は従来どおりなのか。
- A** 新庁舎東駐車場をメイン会場とし、パレードをきらら通りで行う予定としている。花火は従来どおりの場所から打ち上げる予定。

各種がん検診経費の増加について

- Q** 検診無料化による受診率の目標数値は。
- A** 予防医療の一環で、節目年齢の方は無料で受診できる。令和2年度の目標受診率は30%としている。

道路整備について

- Q** 市道維持修繕工事費等を増額できないか。
- A** 限られた予算の中で、市内全域を毎年、計画的に修繕している。市民からの情報による新たな修繕については、随時補正予算で対応していく。

英語教育について

- Q** ALTの人数が増えるが、どれくらい英語の授業に関わるのか。
- A** 小学校では全授業に、中学校では約4分の1の授業に関わる。英語の授業だけでなく、授業以外でも、国際文化を子どもたちに伝えられると期待している。



予算額

5年連続
200億円超

一般会計	222億0,000万円
特別会計	107億1,320万円 (国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療)
企業会計	63億6,115万円 (都市開発事業・水道事業・下水道事業)
合計	392億7,435万円

《重点項目》

- ・健康でいきいきと輝けるまちづくりの推進
- ・子育て支援・教育環境の充実
- ・安全・安心の確保
- ・都市基盤の充実と公共施設等の最適化

神戸電鉄粟生線活性化協議会からの脱退は

- Q** 神戸電鉄粟生線活性化協議会への負担金が予算計上されているが、脱退はしないということか。
- A** 形骸化された協議会に対する問題提起後、改善の兆しが見られるため、脱退はせず、引き続き状況を見守る。イベント中心の協議会活動を否定するものではないが、もっと、まちづくりや経営戦略を議論する場が必要。

保育所の認定こども園化は

- Q** 保育所の整備対象はどこか。また、認定こども園化を見据えて整備されるのか。
- A** 対象は白百合保育園とみやま保育園で、白百合保育園は2年間かけて改修し、改修後、認定こども園への移行を目指す。

令和2年度当初予算に係る7議案について、新たに設置した予算決算常任委員会へ付託し、3月16日、17日の2日間、担当部局ごとに予算審査を実施しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、急遽、日程を短縮し、質問項目を事前通告制にして、簡潔な説明を求めました。審査の結果は、反対討論がありませんでしたが、採決の結果、賛成多数をもって可決すべきものと決定しました。

令和2年度予算を審査

農業集落排水の将来展望は

- Q** 農業集落排水は、将来的には公共下水道につないでいくのか。
- A** 現在の設備(管など)を活用して、将来的には公共下水道につないで、公共下水道区域に編入する予定。

アフタースクール民間委託の影響は

- Q** アフタースクールを民間委託することで、支援員にとって不利益とならないのか。
- A** 全て官が担う時代ではない。よりフレキシブルに対応できるよう民間に委託する。また、この委託を機に賃金もアップする。人件費抑制が目的ではない。



ここが聞きたい 一般質問!!

市民のみなさまの生活に関わる
ことについて、
8人の議員が
一般質問を行いました。

(一般質問は発言した議員が編集しました)



●一般質問とは……

市政全般にわたり、執行機関（市長）に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。

●質問テーマは？

1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由に決めています。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い、市の見解を求めます。

●質問の制限時間は？

1人あたりの制限時間は40分です。(答弁は含みません)



《一般質問をスマホ・タブレットで視聴できます!》

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。



第420回定例会（3月議会）は、3月以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、極めて閉鎖的空間となる議場等での傍聴を全てお断りさせていただきました。

一般質問については、当初傍聴者がいない中で、3月11日(水)、12日(木)に8名の議員が行う予定でしたが、北播磨総合医療センターで新型コロナウイルスの感染が確認されたことへの対応等から書面による回答となりました。しかしながら、喫緊の課題や議案審議等市政運営上特に重要な案件である4項目については、適切妥当な判断を下すためには欠かすことができないとして、14日(土)に定例会を開催し、一般質問を議場で行いました。

4項目以外の一般質問については、文書回答の要点を端的にまとめています。これらの項目については、当局の回答を踏まえ、再度、調査研究し、新しい視点で新しい議場で質すことも考えられます。

今回は、議事運営の優先順位を考慮し、審議等についてもできるだけ書面でやりとりするなど、従来にはない柔軟な対応で、本会議や委員会にかかる時間の短縮に努め、議会に与えられた最も重要な権限と役割である議決を確実に行いました。



久後 淳司 議員（市民クラブ）



QRコード



小野市のコロナウイルス対策は

情報を共有し、冷静に柔軟に対応していく

質問 県内で小野市のみ初期対応として、通常通り授業を行ったが、その後、北播磨地域において感染者が確認されたことを受け、休校に至った。その経緯や理由及び協議内容は、

答弁 休校としない決定をした理由は、①感染者が近隣市町に出ている。②低学年児童の自宅待機中の安全面・保護者の仕事面等社会的影響に対する配慮。③地域特性により、不特定多数者と接触機会が少ない。

④一斉休校は政府の要請。これら4点を総合的に勘案した。その後、市外在住の北播磨総合医療センターに従事する医師が感染したため、速やかに休校を決定した。(教育長)

質問 社会的・経済的にも責任を担う自治体として、今後の新型コロナウイルス感染症対策について、小野市の考え方は。



コロナウイルスなんて怖くない!

答弁 市民の安全・安心は医療面だけでなく、地域社会全体を考えて柔軟に対応していく必要があり、社会機能を止めてしまうと、市民生活が成り立たなくなる。大切なのは、病院とも連携しながら、何を優先し、どこに重点を置いていくのか、業務対応等のトリアージが重要だと考えている。今後も情報を共有しながら、全体を見据えて、冷静に、柔軟に対応していく。(市長)

小野南中学校は どう変わる？

施設の長寿化やバリアフリー化工事を行う

質問 小野南中学校長寿化改良事業の具体的な内容を問う。

答弁 鉄筋のさび止めや耐久性に優れた外壁材等への取替、水道・電気等ライフラインの更新など、施設の長寿化改良工事を行う。加えて、校内バリアフリー化、中庭リニューアルを計画している。総事業費は22億円。令和2年春からグラウンドに仮設校舎を建設し、2学期より仮設校舎での授業を開始する。同時に校舎本体工事に着手し、令和3年11月の完成を目指す。体育館は令和3年度に工着手、令和4年秋までに完成予定。合わせて令和4年度中にグラウンドの整備を実施する。(市当局)

平田 真実 議員（ともに輝くおの）



QRコード



答弁 校舎と体育館を繋ぐ渡り廊下や、エレベーターを設置。また、校内の段差も解消する。トイレも段差を無くし、洋式化と各フロアに多目的トイレの設置を計画。ネットワーク環境整備については、市としての方針を固め、この改良工事の中で整備していく。(市当局)



機能や性能を現在求められる水準へ

山本 悟朗 議員 (ともに輝くおの)



QRコード



児童発達支援施設の今後は

答弁 民間の施設整備を中心に対応する

質問 今期定例会に、「北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園からの脱退について」が議案として提出されている。これまでは、発達障がい児、知的障がい児、肢体不自由児などの多くが、わかあゆ園を利用されてきたが、今後はどうなるのか。

答弁 市議会の議決後、わかあゆ園に脱退の意向を伝え、脱退するのは2年後になる。この2年の間に、小野市では民間の発達支援事業所を2か所整備する。発達障がい児、知的障がい児については、これまでから多くの子どもたちが、わかあゆ園だけでなく市外の民間発達支援事業所を利用されており、今後市内に施設を整備することで、これまで以上に

利便性の高い高品質なサービスがご利用いただける。また、北播磨総合医療センターに隣接する、独立行政法人国立病院機構兵庫あおの病院がある。兵庫あおの病院では、肢体不自由児、重度心身障がい児などを対象とした、児童発達支援事業を実施されており、外来の診療にて小児科医を受診し、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による訓練を受けることができる体制を整えられている。これらのことが、「より高度でより高品質なサービスをいかに低コストで提供するか」という行政経営の理念に合致していると確信している。

(市当局)

小林千津子 議員 (市民クラブ)



QRコード



らん♡らんバスの増車計画は?

答弁 利用ニーズを考え3台増車を前向きに検討

質問 小野市における高齢化率が28%となり、免許返納の機運が高まる中、特に鉄道による公共交通のない下東条地区にとっては、らん♡らんバスが主な移動手段となる。予防医療の観点からも、高齢者自らが外出するために必要な、らん♡らんバスの利便性向上に向けた増車計画について伺う。

答弁 らん♡らんバスは、福祉政策の一環として平成16年1月に運行を開始。平成18年4月からは、65歳以上・小学生以下及び障がい者を対象として無料化を実施し、現在バス8台を最大限活用し11ルートを運行している。本年5月の新庁舎開設に伴うルート改正を行い、市民のニーズを踏まえ利便性の向上に取り組んでいく。今後ますます進展する超高齢社会において買い物支援のみならず、コミュニティの促進、予防医療の観

点からも利用者が増えればバスの台数も増やすという考えのもと運行していく。

(市当局)

答弁 年間20万人に迫る方々が利用されるらん♡らんバス。現在8台で運行しているが、今後の利用ニーズを踏まえ、3台増車も検討する。

(市長)



みんなで育てよう「らん♡らんバス」

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

書面による一般質問と回答

久後 淳司 議員 (市民クラブ)

介護問題における対策について

答弁 平成30年に市内全介護サービス事業者を対象に、「介護人材不足に関するアンケート調査」を実施した結果、介護福祉士等の職員が約50名不足している実態を把握した。現在、介護職員の資格取得に必要な「初任者研修」の受講費用の一部助成を行っており、その周知に努めていく。



小林 千津子 議員 (市民クラブ)

国民健康保険の健康づくりへの支援について

答弁 特定健康診査を受診いただいた被保険者の検診結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方等を対象に、保健師、管理栄養士などの専門スタッフが生活習慣を見直す特定保健指導(実施率58.0%で県内第2位)を行っている。



村本 洋子 議員 (公明党)

就職氷河期世代の支援について

答弁 平成16年度に、若年層の雇用対策として「期限付嘱託職員制度」を創設。本制度による採用者は累計143名。平成18年度からは、32歳以下の「社会人経験者を対象とする採用試験」を実施する等、門戸を広げ40名を採用した。現在、直ちに採用試験の実施は予定していない。



がん教育について

答弁 平成27年度から、小中学校の体育保健科の保健分野で予防のための学習を行っている。小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から、新学習指導要領により更に充実する。専門医による出前授業の開催ではなく、子どもや保護者の状況を把握している教員が、専門性の高い授業を行えるよう、教員のスキルアップにも注力している。

小中学校の水泳授業について

答弁 水泳の授業をアルゴの温水プールで効率的効果的に行うことについて、モデル校を定めて拠点プール運営を試行するなど、教育委員会だけでなく、市を挙げて検討する。

山本 悟朗 議員 (ともに輝くおの)

予防医療の全体計画について

答弁 市民一人ひとりの健康保持による生活の質を最大に向上させ、疾病や介護に対する不安を解消して、いつまでも活躍し続けられる社会の実現を目標としている。施策を体系化した上で具体的な取組について「小野市総合戦略」の中で、明確な数値目標とともに市民の皆様にお示しする予定にしている。



保育園入園の現状について

答弁 昨年10月に開始された3歳児からの保育料無償化により、3歳児の保育需要拡大とともに、3歳未満児の保育需要の拡大にも繋がっている。今年度の入園に関しては、定員に対して応募が逼迫しており、市内児童については待機が発生しないよう調整を進めている。小野市の保育需要のピークは令和2年度と考えている。

常任委員会審査報告

3月定例会の提出議案審査について、3月12日に予算決算、総務文教常任委員会を、3月18日に総務文教、民生地域常任委員会を開催し、当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。

《予算決算常任委員会》

3月12日開催

付託議案数：5件（議案第9号・10号・11号・12号・13号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。



予算決算常任委員会

《総務文教常任委員会》

3月12日開催

付託議案数：1件（議案第28号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

3月18日開催

付託議案数：7件（議案第14号・16号・17号・18号・23号・24号・26号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。



総務文教常任委員会

《民生地域常任委員会》

3月18日開催

付託議案数：7件（議案第15号・19号・20号・21号・22号・25号・27号）

審査結果：以下の2議案以外に反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

- ・議案第20号 小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第25号 北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園からの脱退について

反対討論があり、採決の結果賛成多数をもって可決すべきものと決定。



民生地域常任委員会

議会調査研究活動

令和元年度 小野市議会 議会調査研究活動（1～3月まで）

派遣議員	派遣日	派遣先	内容
河島 泉、山本 悟朗	1月27日～28日	全国市町村 国際文化研修所 (滋賀県大津市)	市町村議会議員特別セミナー (福祉について)
藤原 貴希、喜始 真吾 久後 淳司、高坂 純子	2月3日	大阪府大阪市 (セミナー)	介護保険・地域包括ケアの課題 と展望

詳しくは議会ホームページの「議会調査研究活動報告」で。



藤原 章 議員（日本共産党）

高齢者の心身の活力維持と老人会への助成について

答弁 小野市老人クラブ連合会に加入されていない団体については、市が補助金により推進している社会貢献活動のほか、連合会としての広域的な交流には参加されていない状況であるため、補助の対象にする考えはない。



道路の安全対策について

答弁 東環状線の渋滞対策について、JAガソリンスタンド交差点の北行き車線、小野病院前交差点の南行き車線は、第409回定例会で答弁したとおり、右折レーン等の設置は費用対効果の面から困難。JAライスセンター前の北行き道路については、平坦で直線的道路であるため、ガードレール等の設置は考えていない。

福祉給付制度適正化条例の施行状況について

答弁 今年度の市民からの通報は7件あり、不正受給が2件、不適切な費消が3件、その他が2件。施行後7年間の指導・指示の状況では、生活保護費の返還が1件、児童扶養手当受給資格喪失等が7件。また生活困窮の通報の14件のうち、4件が生活保護受給となった。

藤原 貴希 議員（市民クラブ）

教員の働き方改革について

答弁 県の業務改善方針や計画に準じて服務監督を行っている。労働時間縮減に関しては、校務支援システムの活用などにより、一昨年に比べ週5～10時間程度削減できている。部活動に関しては適切な休養日を設定し労働時間の縮減に努めている。また、学校の垣根をなくして活動するクラブチーム的な活動は現在考えていない。



平田 真実 議員（ともに輝くおの）

子育て支援アプリの概要について

答弁 更なる子育てサポートの手段として、子育て支援アプリを導入し、来年度上期のうちに稼働させる予定。乳幼児健康診査や妊婦教室、育児教室、予防接種等のスケジュールを市からタイムリーに通知でき、母子健康手帳アプリとしても使っていただける。多くの保護者へスピーディーかつ効率的な情報提供を行うことが可能になると考える。



GIGAスクール構想への取組について

答弁 必要以上にICTに頼らない教育を推進すべきとする一方、ICT利活用は時代の流れであり、情報機器を使いこなすためのリテラシー育成は必要であると考えている。日進月歩で進化するICT環境において必要な整備を精査し、国の補正予算の活用も検討しながら、GIGAスクール構想の実現に向け取り組みたい。

高坂 純子 議員（市民クラブ）

小野市の観光戦略について

答弁 兵庫県観光動態調査（H29）では、年間観光客225万6千人。観光産業市内総生産96億9,200万円で市内総生産の約4%である。市の観光戦略の新たな展開については、SNSや各種メディアを利用するほか、(株)JTBとの協働等外部の視点、観光協会や地元の高校生等、多角的な視点を取り込んでいる。



北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園からの脱退について

答弁 今後の療育体制について、肢体不自由児は兵庫あおの病院を、その他の児童は新たに設置する福祉型児童発達支援事業所を利用いただく体制を想定している。小野市発達支援室の機能を最大限活かしながら、新たに設置する事業所と連携を強化し、充実した児童発達支援につなげる。

民生地域常任委員会行政視察報告

令和2年1月23日(木)～24日(金)

群馬東部水道企業団

水道事業の広域化は必要か!?

日本の先進地に学ぶ

3市5町(太田市、館林市、みどり市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町)

水道の広域化について

〈広域化を官民連携で行う新しい形〉

経営基盤の強化と短期間における交付金を用いた工事量増加への対策

- ・包括業務委託を導入し、少ない職員で効率的な業務
- ・官民連携手法を用いた発注形態で対応



低コストの非常用保存水

10年間で総額約139億円の削減!

課 題	対 策
・民間に委託した部分の技術が企業団に継承されない	・実際の業務を行う会社に企業団職員を派遣する
・民間委託の場合、民間責任範囲の拡大による公益性面の懸念	・運営会社に官が出資することによりガバナンスの強化
・監督員と受託水道技術管理者間の協議のみであるが故の業務対応への迅速性	・同じ組織の一員となることにより、現場でスムーズな意思疎通が可能
・明確な作業切り分け	・互いのノウハウを共有可能

〈期待できる効果〉

ライフサイクルコスト削減、浄水場のコンパクト化、維持管理の容易化、水道水の安定供給体制の向上、渇水及び水質事故対応の円滑化

千葉県柏市

フレイル予防が合言葉!?

日本で最初に取り組んだまち

フレイル予防について

柏市 高齢化率:25.63% 要介護認定率:15.5% (H31.4.1 現在)

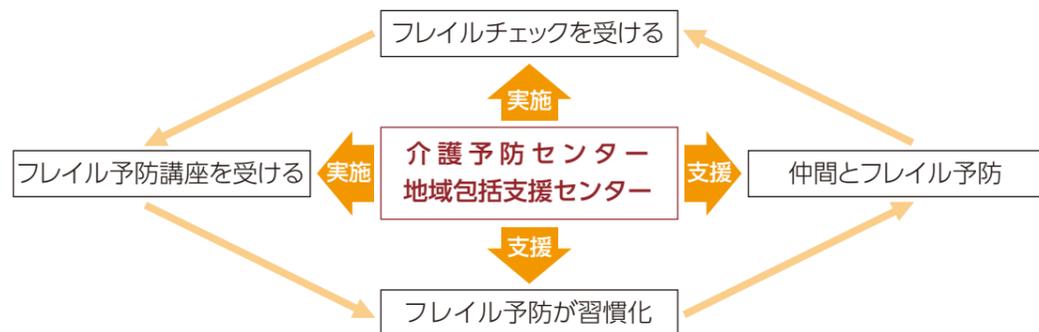
「フレイル」とは、年をとって心身の活力(筋力、認知機能、社会との繋がりなど)が低下した状態。多くの人が健康な状態から「フレイル」の段階を経て、要介護状に陥ると考えられている。



〈地域ぐるみのフレイル予防活動の支援〉

地域を基盤にしたフレイル予防のためのプラットフォームの構築「要介護にならない・要介護の期間を短くすることで、その人らしくいきいきと暮らせる地域づくりを進める」

〈フレイル予防活動の普及・啓発〉



総務文教常任委員会行政視察報告

令和2年2月4日(火)～6日(木)

山口県防府市

自分たちの地域は自分たちで守る!

防災対策の取組について(自主防災組織の活性化等)

〈防府市における近年の災害状況〉

時 期	要 因	被 害
平成21年7月21日	中国・九州北部豪雨(梅雨前線)	死者19名、重軽傷者35名、家屋全壊30棟、床下浸水1,012棟

〈基本方針〉

市民の生命、財産などを守るため、常日頃から、地域や学校での講習会や防災訓練等を実施し、防災に関する意識の高揚を図るとともに、災害時における気象等の情報を迅速かつ的確に収集、伝達のできる体制の構築に努める。



〈自主防災組織〉

地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識に基づき自主的に結成する防災組織
小野市においても毎年小学校区において防災訓練が実施されています。これらを継続し、一人でも多くの受講者・体験者の養成が必要であることの重要性を更に感じたところです。

福岡県久留米市

みんなでやろうよ!セーフコミュニティ

セーフコミュニティ事業について

〈セーフコミュニティの必要性〉

ケガや事故は偶然の結果ではなく、予防できるという考え方。
例えば、怪我をした時に、「どうして怪我をしたのだろうか?」「同じような怪我をしないためには、どうしたらいいだろう?」と考えること、それが「セーフコミュニティ」です。



久留米市では、自殺防止対策として、かかりつけ医と精神科医の顔の見える連携もされていました。心の悩みから身体症状が出ていることも多く、やはり原因を究明し、対策をとっていくというセーフコミュニティのその理念が、市民の安全安心に繋がっているものと確信したため、今後の委員会活動等に活かしてまいります。

大分県豊後大野市

もっともっと活字に親しもう

読書活動推進計画における取組について

豊後大野市の現状での小中学生の不読率は、中長期的には改善傾向、高校生は依然として高くなっています。

〈子どもの読書への関心を高める取組〉

- ・読書会、図書委員、子ども司書、ブックトーク、ビブリオバトル等
- ・移動図書館(車)「にじいろ号」約3,500冊 25か所を巡回
- ・市内の小中学校18校に司書11名を配属



「にじいろ号」

小野市では東北大学の川島隆太教授の指導の下、図書館がリニューアルオープンし、より快適な読書環境で幼児から高齢者まで活用できる図書空間ができ、更なる本への関心が深まるものと期待しています。

議会を傍聴しませんか

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴をお断りする場合がありますのでご了承ください。

☆ 5月臨時会日程 ☆

5月12日(火) 午前10時～

☆ 6月定例会日程 ☆

5月29日(金) 午前10時～

本会議(第1日) 議案説明

6月19日(金) 午前10時～

本会議(第2日) 一般質問実施

6月22日(月) 午前10時～

本会議(第3日) 一般質問実施

6月26日(金) 午後1時30分～

本会議(第4日) 議案の採決など

- ★一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
- ★6月定例会で一般質問する項目・内容については、6月中旬に市議会ホームページに掲載します。

「託児コーナー」を開設

一般質問が行われる6月19日(金)、22日(月)は、「託児コーナー」を開設します。傍聴の際には、1歳から就学前のお子さまをお預かりします。希望される方は、6月11日(木)までに議会事務局にお申し込みください。
(費用負担はありません)



傍聴に行けなくても…

QRコードで議会中継へ
簡単にアクセス!

市議会放送



小野市議会では、本会議を一般公開しています。当日受付で、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも議会の傍聴ができます。

市役所新庁舎6階 議会事務局までお越しください。



傍聴席から見た議場

議会と市民との懇話会

一般質問が行われる19日(金)と22日(月)の本会議休憩中に、傍聴者から質問していただく機会を設けます。

議会傍聴を終えて疑問に思われた点など、ぜひ、ご意見をお聞かせください。

「手話通訳」・「要約筆記」を利用できます

本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。

希望される方は、希望される定例会開催日の8日前までに議会事務局にお申し込みください。
(費用負担はありません)



議会傍聴者数

3月定例会 9名
(令和元年度累計 184名)

《お申し込み先》 議会事務局 TEL.63-1006(直通) FAX.63-4108 E-mail:gikai@city.ono.hyogo.jp

(市議会報編集委員長
川名善三)

今年も市役所の桜が満開となりました。騒然としたなか迎えることとなった今春ですが、めぐりくる季節がもたらす自然の偉大さを感じます。春は別れと出会いの季節と言われますが、56年の歴史が刻まれた現議場での3月定例会を最後として、次回からはいよいよ新しい議場での議会審議が始まります。昨年の改選を経て、新たな小野市議会としてスタートしたこの1年、編集委員会も女性委員を4名とした構成となり、これまで以上に多様な意見を踏まえた紙面構成となるよう検討を重ねてきたところです。これからも、より親しみやすい「議会だより」をめざし、編集委員一同努力してまいりますので、よろしくお願ひ致します。

あとがき